

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

5月報

インフルエンザ/COVID-19定点(小児科定点を含む)

※令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、定点医療機関による定点把握となっています。

インフルエンザ 報告数790件(前月比:1.6、前年同月比:-)と本年2月に大きなピーク(3,060件)がありましたが、4月から大幅に減少しています。ただ例年は、ほとんど発生がない時期ですので、三桁の報告は多いと考えます。定点当たりの報告が二桁であるのは、菊池(定点あたり26.63)、八代(同20.00)、天草(同14.43)でした。県平均は10.00ですが、全県より報告があります。

新型コロナウイルス感染症 初めての解析対象となります。報告数は536件です。報告の多い地区は、人吉87件(定点あたり17.40)、天草71件(同10.14)、有明72件(同9.00)、宇城35件(同7.00)です。全県各地より7件(定点あたり1.40)から151件(同6.04)の報告があります。新型コロナの定点は、79施設です。

小児科定点 (全体傾向)

報告総数3,494件(前月比:1.55、前年同月比:2.05)で前月比・前年同月比ともに増加していますが、これには新型コロナ感染症が新たに加わった影響もあると考えます。増加した主な要因は、新型コロナ感染症のほか、咽頭結膜熱、A群溶連菌咽頭炎、流行性耳下腺炎の増加傾向が大きなものと考えます。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 118件の報告(前月比:1.4、前年同月比:23.6)で、一昨年(令和3年)の4月をピーク(1,000件越)とし、その後昨年から続く漸減の流れを継続していると考えます。1歳児を中心としています。3歳以下では各年齢区分とも二桁の報告がありました。5歳以上の報告はありません。菊池(定点あたり11.00、55件)、八代(同4.50、18件)に多いようです。山鹿、阿蘇を除き県下から報告があります。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数76件(前月比:1.9、前年同月比:2.1)と、今年に入ってから増加し、4月に一旦減少しましたが再び増加に転じています。流行の立ち上がり早いようです。これから夏に向けて増加が予想されます。6ヶ月~2歳で62件と報告の81.6%を占めています。ただ他の年齢でも少数の報告があり年齢分布自体は幅広いようです。有明(定点あたり3.00、報告数15件)、八代(同3.00、同12件)、天草(同2.55、同9件)、熊本(同1.69、同27件)に多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数123件(前月比:1.7、前年同月比:6.2)と今年に入ってから増加が4月からさらに多くなりました。一昨年(令和3年)の高水準が昨年一旦は減少しましたが、昨年末に上昇、そして本年1月から増加が続いています。3歳から7歳が流行の中心ですが、ほぼ全ての年齢からの報告があります。宇城(定点あたり9.50、38件)が特に多いようです。熊本(同3.25、52件)、水俣(同2.50、5件)が続いています。山鹿、阿蘇、人吉を除く県下より報告があります。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,184件(前月比:1.4、前年同月比:0.9)と昨年とほぼ同様の動きです。全年齢層から二桁以上の報告があります。1歳から5歳は三桁です。報告が多いのは菊池(定点あたり74.80、374件)と有明(同26.40、132件)です。水俣と天草除き二桁の報告です。

5. 水痘 : 報告数19件(前月比:1.6、前年同月比:1.1)です。今年に入り12件から19件の報告が続いています。0歳児は、3件ですが、1歳児でも3件の報告があり、その後も8歳まで1~4件の報告があります。予防接種は2014年に定期化されており、すでに10年近くなります。2回目の接種率が高いとはいえないようであり、この結果から2回目接種に継げればと考えます。人吉(定点あたり1.33、4件)、山鹿(同1.00、2件)、有明(同1.00、5件)、宇城(同0.50、2件)からの報告が多いようです。阿蘇・御船・八代・水俣・天草からの報告はありません。
6. 手足口病 : 報告数46件(前月比:1.8、前年同月比:2.1)と例年と変わらない推移です。御船(定点あたり9.67、29件)からの報告が半数を占めています。菊池(同1.40、7件)が続きます。年齢は1歳から2歳を中心としています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数2件(前月比:-、前年同月比:0.5)と、今年初めての報告でした。天草から2件(定点あたり0.50)のみで、いずれも6ヶ月から1歳までです。流行は落ち着いていると考えます。
8. 突発性発疹 : 報告数118件(前月比:1.2、前年同月比:0.8)と、増加傾向にありますが、推移は例年並みです。菊池(定点あたり6.80、34件)が目立ちます。他の地区は、阿蘇を除き、定点当たり1件~2件の報告です。1歳の63例が最も多く4歳まで報告がありました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数307件(前月比:0.7、前年同月比:43.9)と今月最も目立つ増加を呈しています。この2年間は秋に増加していましたが、今年は春に増加しました。4月よりは減少しています。菊池(定点当たり20.40、報告102件)が特に多く、天草(同8.50、同34件)、人吉(同7.00、同21件)、熊本(同5.59、同91件)が続いています。1~2歳を中心とした幅広い年齢からの報告です。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数19件(前月比:1.3、前年同月比:1.9)です。この数年も15件前後での報告が続いていましたが最近では最も多い報告で増加傾向にあります。宇城の6件(定点あたり1.50)以外は、熊本3件、菊池2件、御船1件、八代3件、有明3件、天草1件と少数ではありますが半数以上の地区から報告がありました。年齢は4歳が7件以外は、1~2件の報告であり幅広く分布していました。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 発生件数9件(前月比:0.5、前年同月比:0.6)で、前月比・前年同月比共に減少しています。熊本9件の報告です。年齢別では15~49歳に集まり、70歳以上にも1件の報告があります。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 : 報告数74件(前月比:1.1、前年同月比:1.2)で、前月比・前年同月比共に微増しています。男女別では男性が49件で、女性は25件でした。罹患年齢層は男性が15歳~59歳、女性は15歳~54歳でした。保健所別発生状況は熊本が64件、御船・宇城・八代が3件、有明が1件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数15件(前月比：0.7、前年同月比：0.8)で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が11件、女性が4件でした。罹患年齢層は男性が20歳～60歳以上、女性は50歳～60歳以上でした。保健所別発生状況は熊本が9件、八代が3件、宇城が2件、菊池が1件でした。

3. 尖圭コンジローマ：

報告数は7件(前月比：0.7、前年同月比：0.9)で、前月比で減少、前年同月比で微減していました。男女別では男性が4件で女性が3件でした。罹患年齢層は男性は20歳～54歳、女性は25歳～49歳でした。保健所別発生状況は熊本が6件、有明が1件でした。

4. 淋菌感染症：

報告数は19件(前月比：1.4、前年同月比：0.9)で、前月比で増加、前年前月比で微減していました。男女別では男性が15件で、女性は4件でした。罹患年齢層は男性が20歳～59歳、女性は15歳～24歳でした。保健所別発生状況は熊本が17件、八代と宇城が各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数は27件(前月比：1.8、前年同月比：1.1男女比：15/12)と増加傾向でした。熊本(14)、人吉(5)、山鹿・阿蘇(各3)、有明(2)でした。年齢分布としては70歳以上(21)、60-64歳(2)、35-39歳・45-49歳・55-59歳・65-69歳(各1)と前回同様に高齢者に多く認められました。
▼例年より多く増加傾向の報告数で経過していますので注意が必要です。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数は3件(前月比：-、前年同月比：3.0、男女比：3/0)と増加傾向でした。熊本(2)、天草(1)でした。年齢分布としては60-64歳・65-69歳・70歳以上(各1)でした。
▼例年並みの報告数でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数で推移しています。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は1件(前月比：-、前年同月比：-)で散発的に報告されています。熊本(1)で、年齢分布としては70歳以上(1)でした。
▼散発的ですが、例年よりやや多い報告数です。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件(前月比：0.5、前年同月比：0.5)で減少傾向でした。熊本(1)で、年齢分布としては30-34歳(1)でした。
▼例年同様夏季に向けて減少傾向の報告数でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼今年4月以降報告はありません。

4. クラミジア肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼引き続き報告がありません。

5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる)：

報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼昨年11月以降報告はありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	21件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	： つつが虫病	1件
	レジオネラ症	2件
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	2件
	日本紅斑熱	3件
5類感染症	： ウイルス性肝炎	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4件
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
	梅毒	11件
	百日咳	2件
新型インフルエンザ等感染症	：	
(5月7日以前)	新型コロナウイルス感染症	677件(1週間)